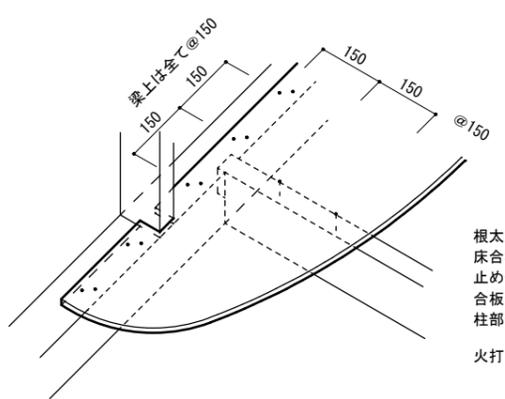
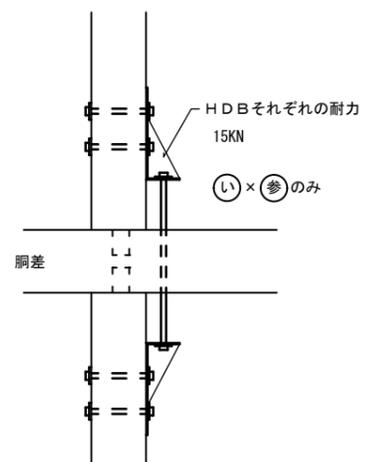


七
 八
 九
 拾
 拾壹



根太及び梁天端を同一面とすることにより
 床合板は根太・梁共に接着剤併用釘N50@150で
 止め付ける。
 合板12mmを隙間なく張る。
 柱部分は合板を欠く。
 火打ち梁は省略。

凡例

---	根太 105×45 @303
---	根太掛け 105×45
■	柱 105×105
⊠	通し柱 120×120 1階-2階
/	下階柱

- ・特記なき梁は 115×115 役物梁の幅は120。
- ・役物梁は米松。
- ・根太：105×45@303 (桐など) 根太天端は梁天端と合わせ。
- ・筋違い：90×45 (杉) 床合板は梁にも釘止め。
- ・間柱：105×33 (杉)。
- ・柱：105×105 (杉)。
- ・根太掛：105×45 (桐など)。
- ・火打ち梁：90×90 (桐など)。

※本図は柱脚部を示すが筋違柱頭部金物は柱脚部に同じ。(S/7参照)



件名	A 邸 新 築 工 事	SCALE	1 / 5 0	S 4
図名	構造図-4 2階床+柱+筋違	DATE		
デザインシステム 新田 建築 事務所		一級建築士事務所 東京都知事登録No. 30240 一級建築士 新田 広史 建設大臣登録No. 165569		